

3月定例会の日程

《2月》	
26日	本会議〔会期の決定、諸般の報告、予算大綱説明、議案説明など〕 予算審査特別委員会
《3月》	
5日	本会議〔一般質問〕
7日	本会議〔一般質問〕
10日	総務委員会
11日	経済委員会
12日	文教委員会
13日	予算審査特別委員会
14日	予算審査特別委員会
17日	予算審査特別委員会
18日	予算審査特別委員会
21日	本会議〔委員長報告、質疑、討論、採決など〕

するため、6000万円が計上されました。

そのほか、みどり保育園の民営化をはじめ、特定健康診査等事業、新泉源開発事業費補助金、全国伝統花火サミット事業負担金、民間非木造住宅耐震診断事業費補助金などが予算化されました。

●歳出  
●総務費

協働のまちづくり基金

問 20年度に積み立てる300万円の積立金の運用は。

答 基金の仕組み、運用方法については現在決まっていない。今後、市民との組織を作って考えていきたい。20年度中には基金を設置したい。実際の執行は21年

度からと考えている。

●民生費  
保育園給食について

問 保育園の給食を自園調理に変えていくべきではないか。

答 センター給食が出せないなら、弁当を持ってきてもらってでも、早急に自園調理に切り替えていくべきだと考えている。

問 保育園が民営化になり、給食の食材費を削り、質の悪い食材が使われたという事例を聞くが、蒲郡市ではどうか。

答 一般生活費の中で給食にかかる費用の割合が蒲郡市の場合60%から70%ぐらいである。民営化されても国、県の監査で確認できる。

●衛生費

一般不妊治療助成事業

問 昨年の10月から実施していると聞いている。今までの実績と周知方法を伺う。

答 3月13日現在までの申請者数は12人、助成額が24万6000円。周知方法としては、広報がまごおりへの掲載や、直接医療機関にチラシを持っていきながら、医療機関からこの事業について周知してもらうようにお願いをした。

●農林水産業費

漁業後継者育成

問 漁業後継者育成はたいへん難しく、なかなか新しい人材が集まらないと思うが、相談などに応じてくれる県の施設などはあるのか。

また、市や漁業協同組合の対応は。

答 県の施設として、三谷町の水産試験場の中に漁業就業者確保育成センターがあり、蒲郡の方は利用しやすいと思う。

各漁協からは、新規就業者があると申請が出され、市は祝い金を出している。

●商工費

観光宿泊客2割アップ

問 観光宿泊客2割アップとは、具体的に何人を目標としているのか。また、いつまでに達成することを目標にしているのか。

答 19年の宿泊客が82万8406名であったので、100万人を目標にしている。市長のマニフェストにある施策なので、4年を目標に達成したいと思っている。

●土木費

インナーハーバー計画改訂

問 東港活用検討委員会とインナーハーバー計画改訂はどれくらいの期間で行われるのか。期間の制限により、大雑把な内容にはならないか。

答 インナーハーバー計画改訂はウォーターフロント開発協会からの助成金の対象となる20年度中に行いたいと考えている。東港活用検討委員会については、年内に1つの方向を出したいと考えている。2つとも事務局は企画広報課であるので、調整をしていきたい。

●消防費

新消防庁舎建設

問 新消防庁舎は、20年度にはどの程度建設が進んでいくのか。

答 現在、実施設計図面を作成中である。今後は6月に建築確認申請を行い、12月議会に契約を上程するよう考えている。その後、年明けに着手し、年度内には基礎工事と1階部分の建設が進んでいく予定である。

●教育費

豊かな体験活動推進事業

問 豊かな体験活動推進事業委託料の内容を伺う。

答 市内7中学校に一律60万円を配分し、長期の宿泊体験を通して子どもの感性、社会性を育てる事業である。自然教室の内容は各校の裁量で、19年度は、夏の乗鞍へ5校、冬の妙高へ2校が3泊4日で行っている。

●歳入

財政調整基金繰入金

問 財政調整基金の20年度末残高はどれくらいか。

答 18年度末で18億396